

[日本都市学会 第58回大会]

プログラム

震災と持続可能な都市づくり

[日時] 2011年11月4日(金)・5日(土)・6日(日)

[会場] コラッセふくしま(福島県福島市三河南町1番20号)

主催 日本都市学会・東北都市学会

後援 福島市・福島大学うつくしまふくしま未来支援センター



【一般の方(非会員)の来聴も歓迎します】

〈問い合わせ先〉 日本都市学会第58回大会事務局・東北都市学会事務局
〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾30 福島工業高等専門学校
コミュニケーション情報学科 松本行真研究室気付
Tel 0246-46-0850 E-mail matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp
日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/>

2011年11月4日(金)

エキスカーション「福島駅周辺のまちづくり」

参加費無料。参加者は事前登録が必要です。ハガキまたはメールで[参加]ご記入の方は登録済みです。問い合わせは大会事務局(当日連絡先:090-8921-6964 松本)まで。

- 13:30 集合 福島駅西口駅前
- 13:45 西口周辺を視察(コラッセふくしま、太田町商店街など)
- 14:30 東口周辺を視察(借り上げ市営ビル、旧城下町地区、旧奥州街道など)
- 15:15 パセオ通にある再開発商店街を視察
- 15:30 福島まちづくりセンター担当者による説明
- 16:30 解散

日本都市学会理事会

17:00~20:00

[会場] ホテルサンルートプラザ福島 芙蓉の間Ⅱ
(福島県福島市大町7-11 024-525-2211)

2011年11月5日(土)

受付開始

9:00~

参加費 3,000円(資料・要旨集代込み)、懇親会費 6,000円(学生 4,000円)

※昼食の用意は特にしておりません。各自、会場周辺でおとりくださいますよう、
お願い申し上げます。

※発表者へのお願い(重要)

- ① 発表時間と方法:発表時間は質疑応答や交代時間を含め「25分」です。
1鈴10分、2鈴15分、3鈴20分、進行は司会者の指示に従ってください。
- ② 発表時の使用機器について:各会場にはプロジェクタとノートパソコン(Windows)
を用意しています。パワーポイントの操作はご自身でお願いします。
- ③ 発表の準備と打ち合わせ:発表用のパワーポイントのファイルはセッション開始
10分前までに、各会場のパソコンにコピーしておくよう、お願いいたします。
なお、ファイルは必ずPowerPoint2003以前の形式で保存し、USBメモリにてご持参
ください。USBメモリで感染するウィルスにご注意ください。

研究発表Ⅰ

9:20～12:15

東日本大震災と都市づくり① 第1会場 401会議室

座長 越沢明、熊田俊郎、小田隆史

9:20	1-1	小田隆史	インター・ローカルな関係性構築を通じた災害に強い都市ガバナンス再考ー東日本大震災からの復旧・復興における「所縁」ある地域間の連携事例ー
9:45	1-2	川副早央里 浦野正樹	原発災害の影響と復興への課題ーいわき市にみる地域特性と被災状況の多様性への対応ー
10:10	1-3	西野淑美 大堀研 秋田典子	東日本大震災による岩手県釜石市住民の被災実態ー意識調査結果よりー
10:35	1-4	檜楨貢	地域社会経営の連続性 ー八戸市避難所経営事例からー
11:00	1-5	上村康之 江川誠一	東日本大震災による「観光」への直接的・間接的影響 ー岩手県、宮城県、福島県を対象としてー
11:25	1-6	久保倫子 益田理広 山本 敏貴 橋本 操 Konstantin Greger 松井 圭介	日立市における居住環境評価に対する東日本大震災の影響
11:50	1-7	増田聡	東日本大震災からの復興プロセス・不確実性と「起こりうる未来」

産業集積と都市 第2会場 402会議室

座長 山崎健、高田弘子

9:20	2-1	小沢康英	活力の維持を図る神戸西部地域の製造業集積
9:45	2-2	溝口晃洋 三井栄	中部経済の成長と産業集積
10:10	2-3	佐藤直由 猪股歳之	地方都市における季節雇用の変容と現代的課題
10:35	2-4	古賀慎二	東京都区部における管理職就業者の就業実態と生活行動の性差
11:00	2-5	御手洗潤 越澤明	自治体による建築物緑化規制の緑化義務に関する比較研究
11:25	2-6	高橋雅也	着地型観光をめぐるガバナンス ー大分県竹田市での取組からー
11:50	2-7	林上	貿易構造の変化と国際物流機能の都市港湾立地

研究発表Ⅰ(つづき)

9:20~12:15

都市圏・都市構造 第3会場 302会議室

座長 由井義通、富田和暁、日野正輝

9:20	3-1	日野正輝 劉雲剛	1990年代以降における日本の大都市圏の構造変化
9:45	3-2	田代敬大 樗木武	用途混在地区を含む閉鎖都市の空間構造について
10:10	3-3	南博	鑑賞・観戦行為に対する市民意識の都市間比較
10:35	3-4	竹内正人	大阪都市圏における古い分譲地の価値形成に関する研究
11:00	3-5	立石亮祐	OD逆推定における交通量観測地点の選定方法と推計精度について
11:25	3-6	磯部友彦	行政界に接する地区における自治体バスの導入効果について
11:50	3-7	斉藤綾美	地域社会と宅幼老所—宅幼老所Iの事例から—

開会挨拶 多目的ホール

13:00~13:10

戸所隆(日本都市学会会長)、日野正輝(東北都市学会会長)

日本都市学会賞授賞式

13:10~13:25

特別講演「原子力災害に立ち向かった8ヶ月」

13:30~14:00

瀬戸孝則 福島市長

シンポジウム「震災と持続可能な都市づくり」

14:05~16:30

趣旨説明 岩動志乃夫(東北学院大学教授)

コーディネーター 山川充夫(福島大学教授)

パネリスト 内堀雅雄氏(福島県副知事) 加藤恵正氏(兵庫県立大学教授)
鈴木浩氏(福島大学教授) 吉原直樹氏(大妻女子大学教授)

日本都市学会総会

16:40~17:00

懇親会

18:00~20:00

懇親会費 6,000円(学生 4,000円) 会場 「きいちご」(コラッセふくしま 12階)

2011年11月6日(日)

研究発表Ⅱ

9:20~13:05

東日本大震災と都市づくり② 第1会場 401会議室

座長 外井哲志、千葉昭彦、高橋英博

9:20	4-1	中鉢令兒	災害と観光地の復興—金谷眞一、山口正造のアントレプレナーシップを視点として
9:45	4-2	平島尚哉 寺町賢一	外水反乱発生前の自家用車を利用した避難行動分析
10:10	4-3	大内田鶴子	コミュニティと住民防災活動 —行政サービスの隙間に襲いかかる災害への対応
10:35	4-4	吉川忠寛	復興計画の合意形成で大事なこと
11:00	4-5	金城敬太 松本行真	災害発生後の情報認知とそれに伴う行動に関する分析
11:25	4-6	鐘江正剛 外井哲志 梶田佳孝	福岡市における都市の縮退と震災対策からみる対応について
11:50	4-7	遠藤一幸 松本行真	震災復興に向けた道の駅の現状と課題
12:15	4-8	大勝陽平 松本行真	港湾地区復興に向けたプロセスおよび課題についての一考察
12:40	4-9	千葉昭彦	東日本大震災での住宅・宅地の被災の社会経済的特徴と課題

医療福祉と観光のまちづくり 第2会場 402会議室

座長 浦野正樹、岩動志乃夫、寺町賢一

9:20	5-1	増田金重	ノーマライゼーションにおける障害者の企業就労の研究—企業の見解から—
9:45	5-2	伊藤嘉高	自治体病院再編と都市住民の受療行動の変容
10:10	5-3	千葉喜久也	地方都市における子育ての現状について
10:35	5-4	槇石多希子 高橋満	〈健康のまちづくり〉の計画と実践 —ロジック・モデル適用の試み
11:00	5-5	SUMIYA GERELSAIKHAN	モンゴルにおける国の酪農業への政策評価 —「ミルク」国家プログラムの結果の評価を中心に—
11:25	5-6	安藤克美 外川伸一	動的相互依存モデルの世界遺産事業への適用
11:50	5-7	鈴木地平	地域資源としての文化的景観を活用した持続可能な地域活性化政策について
12:15	5-8	土居洋平	観光まちづくりの浸透とその課題 —山形県内の事例から—

研究発表II(つづき)

9:20~13:05

都市政策と地域づくり 第3会場 302会議室

座長 実清隆、吉野英岐、初沢敏生

9:20	6-1	外川伸一 安藤克美	新たな自治モデルの提唱
9:45	6-2	東善朗 三井栄	地域振興イベントに対する参加者満足度の考察 ー岐阜県御嵩町地域探検事業を事例としてー
10:10	6-3	亀野辰三 田中孝典	コンパクトシティにおける自転車利用推進施策の 現状とその位置づけについて
10:35	6-4	初沢敏生	都市農村交流をめざした地域づくり ー福島県石川町を例にー
11:00	6-5	野々山和宏	開発計画からみた「東北」の自己規定とその変遷
11:25	6-6	村瀬博昭	災害復興へのCSA(Community Supported Agriculture)の活用ー消費者による地域づくりー
11:50	6-7	若松矢 寺町賢一 浦英樹	買い物難民を含む住民の買い物行動分析 ー北九州市小倉北区を対象としてー
12:15	6-8	宮武功 津々木晶子 保井俊之	衛星画像を用いた都市廃棄物不法投棄の早期発見 モデルに関する地方自治体職員の選好について: ー関西広域連合モデルの構築を事例として

【会場地図】 コラッセふくしま



【エクスカーション集合場所】

